

SC販売統計調査報告 2017年10月

既存SC前年同月比 : ▲0.4%

天候や土曜日減の影響もあり8ヶ月ぶりマイナス

<全体概況>

- ・10月度の既存SCの売上高は、台風の影響や土曜日が前年比で1日減少した影響などもあり、総合で前年同月比▲0.4%となり8ヶ月ぶりに前年を下回った。テナントは同▲0.3%(8ヶ月ぶりマイナス)。キーテナントは▲0.9%となり10ヶ月ぶりに前年を上回った前月から一転してマイナスとなった。
- ・立地別・構成別(表1)の総合では、中心地域が同▲0.8%、周辺地域が同▲0.2%となった。大都市中心地域のキーテナントは同+7.2%と好調を維持した。また、3月から前年比プラスが続く周辺地域のテナントは同+0.1%で僅かに前年を上回った。
- ・立地別・地域別(表2)では、全9地域のうち、前年を上回ったのが北海道と九州・沖縄の2地域にとどまり、週末に2回の台風が接近・上陸した影響が全国的にみられた。
- ・都市規模別(表3)では、政令指定都市の総合が同▲0.6%、その他の地域も同▲0.2%となり両者ともに前年を下回った。大型連休により中国・韓国からのインバウンド客が増加した福岡市は総合で同+8.0%と好調であった。
- ・業種毎の販売動向をみると、テナントでは飲食が好調、婦人衣料が不振との回答が多くみられた。キーテナントでは加工食品が好調、生鮮食品は好不調が分かれた。

<トピックス>

月後半に2個の台風が週末に接近・上陸したり、土曜日が前年比で1日少なくなった影響もあり全国的に売上が伸び悩み、2月以来8ヶ月ぶりに前年を下回る結果となった。一方で、中国や韓国などで例年より連休が長く訪日客が大幅に増えたことが、インバウンド客の集まる大都市の売上に寄与した。

※サンプル数:503SC (回収率50.3%)

※本調査は、2015年12月末現在の全SC3,195SCの中から立地別・SC規模別に1,000SCをサンプル抽出し、調査したものをまとめた。

※当協会のSC販売統計調査報告は、政府統計に合わせて消費税を含めて算出しております。

表-1 立地別・構成別 売上高伸長率

立地	SC数	総合	テナント	キーテナント
総合	503	▲0.4	▲0.3	▲0.9
地域中心	大都市	▲0.1	▲0.6	7.2
	中都市	▲2.2	▲1.7	▲5.3
	小計	140	▲0.8	▲1.0
周辺地域	363	▲0.2	0.1	▲1.2

(注)

■立地

中心地域:人口15万人以上の都市(東京23区を含む162都市)で、商業機能が集積した中心市街地
周辺地域:上記中心地域以外の全ての地域

■都市規模

大都市:札幌・仙台・千葉・東京区部・川崎・横浜・名古屋・京都・大阪・神戸・広島・福岡・北九州の各市
中都市:上記都市を除く人口15万人以上の都市

表-2 立地別・地域別 売上高伸長率

立地(SC数) \ 地域	総合	北海道	東北	関東	中部	北陸	近畿	中国	四国	九州・沖縄	
総合	503	▲0.4	0.6	▲0.8	▲0.5	▲0.1	▲3.4	▲0.6	▲0.4	▲2.9	2.5
中心地域	140	▲0.8	0.6	4.1	▲1.0	▲4.0	▲4.9	▲0.3	▲3.8	▲16.7	4.6
周辺地域	363	▲0.2	0.4	▲2.8	▲0.2	1.0	▲2.9	▲0.7	1.2	0.2	1.1
(SC数)	503	16	29	199	61	33	88	30	12	35	

(注) ■地域

北海道:北海道
東北:青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県
関東:茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・山梨県
北陸:新潟県・富山県・石川県・福井県
中部:長野県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県
近畿:滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県
中国:鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県
四国:徳島県・香川県・愛媛県・高知県
九州・沖縄:福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県

表-3 都市規模別・地域別
売上高伸長率

都 市	SC数	総 合	テナント	キーテナント	
総 合	503	▲ 0.4	▲ 0.3	▲ 0.9	
政 令 指 定 都 市	札幌市	10	0.3	0.3	-
	仙台市	5	4.2	4.2	-
	千葉市	5	▲ 3.8	▲ 3.8	-
	東京区部	55	1.0	0.6	2.9
	横浜市	16	▲ 3.1	▲ 2.8	▲ 4.7
	川崎市	9	▲ 2.7	▲ 3.0	0.1
	名古屋市	12	▲ 5.6	▲ 7.4	2.8
	京都市	7	▲ 0.2	0.4	▲ 1.3
	大阪市	21	0.0	0.0	0.4
	神戸市	18	▲ 3.2	▲ 3.8	0.4
	広島市	9	▲ 4.5	▲ 4.7	▲ 0.6
	北九州市	2	▲ 6.7	▲ 7.4	▲ 2.7
	福岡市	8	8.0	7.6	15.3
	小 計	177	▲ 0.6	▲ 0.9	1.0
そ の 他 の 地 域	北海道	6	1.7	2.2	▲ 2.0
	東北	24	▲ 2.9	▲ 2.6	▲ 3.7
	関東	114	▲ 0.4	▲ 0.2	▲ 1.2
	中部	49	1.7	2.5	▲ 1.9
	北陸	33	▲ 3.4	▲ 3.9	▲ 2.6
	近畿	42	▲ 0.2	0.4	▲ 1.8
	中国	21	1.0	1.6	▲ 0.2
	四国	12	▲ 2.9	▲ 1.5	▲ 4.3
	九州・沖縄	25	1.2	1.6	0.1
小 計	326	▲ 0.2	0.2	▲ 1.7	

※「その他の地域」には、政令指定都市は含まない。

※2003年以降、さいたま市、静岡市、浜松市、新潟市、

堺市、岡山市が、2010年4月は相模原市が、2012年4月は
熊本市が政令指定都市となったが、さいたま市、相模原市は
関東地域、静岡市・浜松市は中部地域、新潟市は北陸地域、
堺市は近畿地域、岡山市は中国地域、熊本市は
九州・沖縄地域に含めた。

表-4 キーテナント業態別
売上高伸長率

キー業態	SC数	%
総 合	503	▲ 0.4
核なし	285	▲ 0.3
1 核	Dpt	11 ▲ 1.5
	GMS	119 ▲ 0.4
	SM	38 ▲ 0.3
	SS	2 ▲ 0.4
	HC	1 ▲ 4.0
	専門店	3 2.2
	生協	5 ▲ 0.8
	Dgs	2 2.3
	小 計	181 ▲ 0.5
	2 核	Dpt+SM
GMS+SM		2 ▲ 2.7
GMS+HC		1 0.9
GMS+専門店		4 ▲ 4.4
SM+SS		2 ▲ 2.9
SM+HC		1 1.7
SM+DS		1 ▲ 1.8
SM+専門店		8 0.4
生協+HC		1 ▲ 6.8
その他		7 2.8
小 計	29 ▲ 0.4	
3核以上	Dpt+GMS+HC	2 ▲ 1.8
	その他	6 ▲ 1.6
小 計	8 ▲ 1.7	

表-5 立地別SC・テナント・キーテナント効率

立地(SC数)	売上高・店舗面積		売上高		店舗面積		1SC当り売上高 (千円)	坪効率 (千円)	1SC当り 平均面積 (㎡)
			(千円)	前年比	(実効㎡)	前年比			
SC総合	総合	503	525,760,023	▲ 0.4	10,194,771	3.9	1,045,249	170	20,268
	中心地域	140	164,604,665	▲ 0.8	1,932,769	▲ 0.2	1,175,748	281	13,806
	大都市	69	112,040,338	▲ 0.1	1,098,163	0.0	1,623,773	337	15,915
	中都市	71	52,564,327	▲ 2.2	834,607	▲ 0.5	740,343	208	11,755
	周辺地域	363	361,155,358	▲ 0.2	8,262,002	4.9	994,918	144	22,760
テナント	総合	503	422,933,960	▲ 0.3	7,591,267	5.3	840,823	184	15,092
	中心地域	140	149,959,015	▲ 1.0	1,727,006	▲ 0.3	1,071,136	287	12,336
	大都市	69	104,430,094	▲ 0.6	1,037,320	0.0	1,513,480	332	15,034
	中都市	71	45,528,921	▲ 1.7	689,687	▲ 0.6	641,252	218	9,714
	周辺地域	363	272,974,945	0.1	5,864,261	7.0	751,997	154	16,155
キーテナント	総合	218	102,826,063	▲ 0.9	2,603,504	▲ 0.1	471,679	130	11,943
	中心地域	20	14,645,650	0.8	205,763	0.0	732,283	235	10,288
	大都市	4	7,610,244	7.2	60,843	0.0	1,902,561	413	15,211
	中都市	16	7,035,406	▲ 5.3	144,920	0.0	439,713	160	9,058
	周辺地域	198	88,180,413	▲ 1.2	2,397,741	▲ 0.1	445,356	121	12,110

注:売上高(総合)は、調査対象503SCの合計値です。

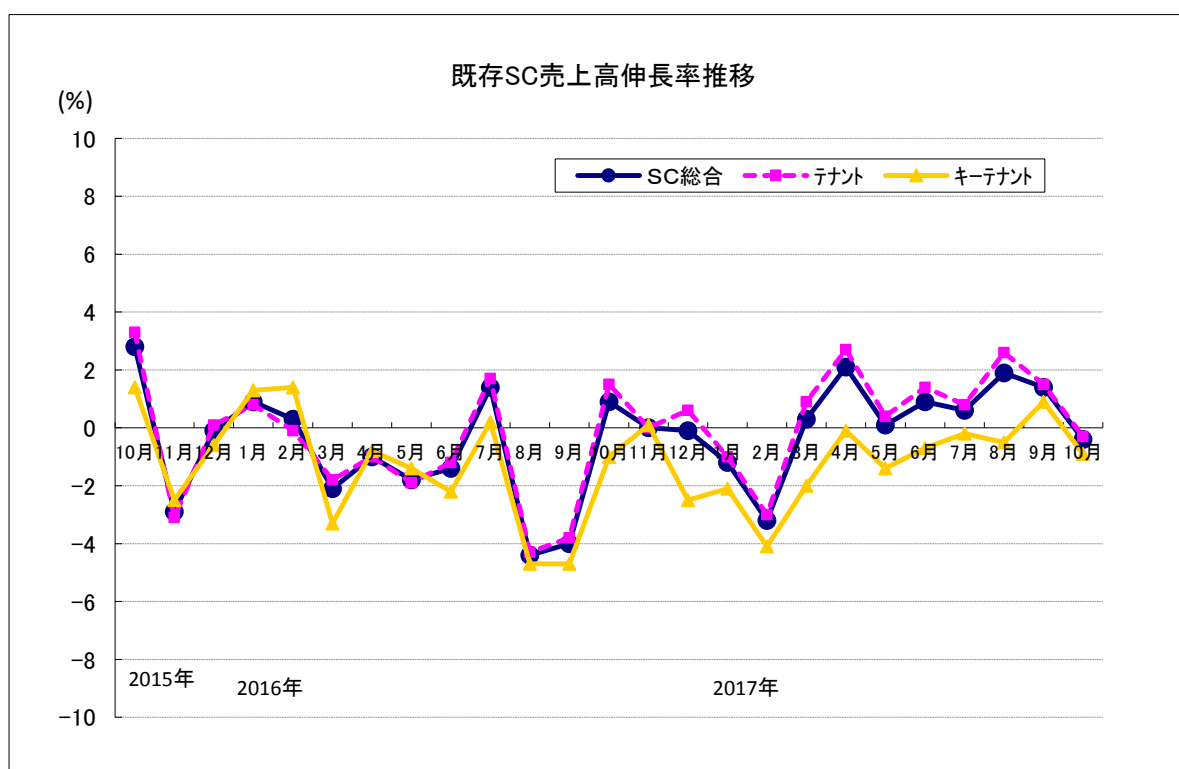


表-6 SC・百貨店・チェーンストア 売上高前年対比

		S C			百貨店	チェーン ストア
		既存SC				
		SC総合	テナント	キーテナント		
年別	00年	▲ 3.4	▲ 3.1	▲ 3.7	▲ 2.2	▲ 5.1
	01年	▲ 2.2	▲ 1.4	▲ 3.3	▲ 0.4	▲ 5.2
	02年	▲ 2.1	▲ 2.1	▲ 2.1	▲ 2.3	▲ 2.1
	03年	▲ 1.6	▲ 0.8	▲ 2.4	▲ 2.8	▲ 3.2
	04年	▲ 1.7	▲ 0.9	▲ 2.9	▲ 2.8	▲ 3.5
	05年	0.3	1.5	▲ 1.9	▲ 0.2	▲ 2.6
	06年	0.3	0.9	▲ 0.7	▲ 0.7	▲ 2.7
	07年	0.0	0.3	▲ 0.6	▲ 0.5	▲ 1.4
	08年	▲ 1.5	▲ 1.1	▲ 2.3	▲ 4.3	▲ 0.7
	09年	▲ 6.8	▲ 6.5	▲ 7.4	▲ 10.1	▲ 4.3
	10年	▲ 2.0	▲ 1.7	▲ 2.8	▲ 3.1	▲ 2.6
	11年	▲ 1.3	▲ 1.1	▲ 1.5	▲ 2.0	▲ 0.8
	12年	0.5	1.5	▲ 1.6	0.3	▲ 1.9
	13年	▲ 0.5	▲ 0.1	▲ 1.3	1.6	▲ 0.7
	14年	0.1	0.5	▲ 0.9	0.3	▲ 0.6
	15年	0.0	0.3	▲ 0.6	▲ 0.2	0.7
16年	▲ 1.1	▲ 0.9	▲ 1.4	▲ 2.9	▲ 0.4	
2015上半期	(1～6月)	▲ 1.2	▲ 0.8	▲ 2.2	▲ 1.9	0.0
2015下半期	(7～12月)	0.9	1.1	0.4	1.4	1.4
2016上半期	(1～6月)	▲ 0.9	▲ 0.9	▲ 0.9	▲ 2.8	0.4
2016下半期	(7～12月)	▲ 1.1	▲ 0.8	▲ 2.0	▲ 2.9	▲ 1.1
2017上半期	(1～6月)	▲ 0.2	0.2	▲ 1.7	▲ 0.3	▲ 1.5
2015四半期別	(1～3月)	▲ 4.3	▲ 3.2	▲ 7.1	▲ 8.6	▲ 4.0
	(4～6月)	2.2	1.8	3.3	6.4	4.1
	(7～9月)	2.0	2.1	1.5	2.7	2.3
	(10～12月)	▲ 0.1	0.0	▲ 0.5	0.3	0.5
2016四半期別	(1～3月)	▲ 0.3	▲ 0.3	▲ 0.2	▲ 1.6	1.7
	(4～6月)	▲ 1.6	▲ 1.6	▲ 1.4	▲ 4.1	▲ 0.8
	(7～9月)	▲ 2.4	▲ 2.3	▲ 2.9	▲ 3.4	▲ 2.0
	(10～12月)	0.3	0.6	▲ 1.1	▲ 2.5	▲ 0.3
2017四半期別	(1～3月)	▲ 1.3	▲ 1.0	▲ 2.7	▲ 1.2	▲ 2.2
	(4～6月)	1.0	1.4	▲ 0.6	0.7	▲ 0.8
2016 月別	1月	0.9	0.8	1.3	▲ 1.9	2.3
	2月	0.3	▲ 0.1	1.4	0.2	3.4
	3月	▲ 2.1	▲ 1.8	▲ 3.3	▲ 2.9	▲ 0.3
	4月	▲ 1.0	▲ 1.0	▲ 0.8	▲ 3.8	▲ 0.7
	5月	▲ 1.8	▲ 1.9	▲ 1.4	▲ 5.1	▲ 1.3
	6月	▲ 1.4	▲ 1.2	▲ 2.2	▲ 3.5	▲ 0.5
	7月	1.4	1.7	0.2	▲ 0.1	0.2
	8月	▲ 4.4	▲ 4.3	▲ 4.7	▲ 6.0	▲ 2.9
	9月	▲ 4.0	▲ 3.8	▲ 4.7	▲ 5.0	▲ 3.2
	10月	0.9	1.5	▲ 1.0	▲ 3.9	0.6
	11月	0.0	0.0	0.1	▲ 2.4	0.8
	12月	▲ 0.1	0.6	▲ 2.5	▲ 1.7	▲ 2.0
2017 月別	1月	▲ 1.2	▲ 1.0	▲ 2.1	▲ 1.2	▲ 1.6
	2月	▲ 3.2	▲ 3.0	▲ 4.1	▲ 1.7	▲ 3.3
	3月	0.3	0.9	▲ 2.0	▲ 0.9	▲ 1.8
	4月	2.1	2.7	▲ 0.1	0.7	0.6
	5月	0.1	0.4	▲ 1.4	0.0	▲ 1.8
	6月	0.9	1.4	▲ 0.7	1.4	▲ 1.2
	7月	0.6	0.8	▲ 0.2	▲ 1.4	0.0
	8月	1.9	2.6	▲ 0.5	2.0	▲ 0.5
	9月	1.4	1.5	0.9	4.4	▲ 0.3
	10月	▲ 0.4	▲ 0.3	▲ 0.9	▲ 1.8	▲ 1.9
出典	日本ショッピングセンター協会			百貨店協会	チェーンストア協会	